第 46 回日本伝熱シンポジウム講演論文募集

第 46 回日本伝熱シンポジウム実行委員会
委 員 長　牧野俊郎
事務局長　中部主敬

開催日：　平成 21 年 6 月 2 日（火）〜 6 月 4 日（木）

会　場：　国立京都国際会館（http://www.icckyoto.or.jp/）
行き方　JR 京都駅から地下鉄烏丸（からすま）線で 20 分，国際会館駅下車，徒歩 5 分.
http://www.icckyoto.or.jp/jp/access/access.html
所在地　〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池（Phone: 075-705-1234 / Fax: 075-705-1100）

講 演 申 込 期 間：平成 21 年 1 月 7 日（水）〜 1 月 19 日（月）
講演論文原稿提出期間：平成 21 年 2 月 24 日（火）〜 3 月 16 日（月）
事 前 参 加 申 込 期 間：平成 21 年 2 月 24 日（火）〜 4 月 13 日（月）

ホームページ URL：　http://nhts2009.me.kyoto-u.ac.jp/

【シンポジウムの形式】
- 講演形式として，
  a) 一般セッション（口頭発表）
  b) オーガナイズドセッション（口頭発表）
  c) 学生・若手研究者を対象とする優秀プレゼンテーション賞セッションを設けます.
- 1 講演あたりの講演時間は，一般セッションについては 15 分（発表 10 分，個別討論 5 分）とし，各セッションの最後に総合討論の時間（5 分×セッション内の講演件数）を設ける予定です．オーガナイズドセッションについては，オーガナイザーの指示に従って下さい.
- 優秀プレゼンテーション賞セッションについては，本号掲載のお知らせ「優秀プレゼンテーション賞について」をご参照下さい.

【参加費等】
- シンポジウム参加費
  一般（事前申込：12,000 円，当日申込：14,000 円）
  学生（事前申込： 5,000 円，当日申込： 6,000 円）
- 講演論文集
  日本伝熱学会会員：無料（電子版は，事前に J-STAGE 上で公開します．参加者には当日に冊子体・CD-ROM を配布します．不参加者のうちの希望者には，CD-ROM を事後に配布します.）
  非　会　員：8,000 円（冊子体）．会場受付にて日本伝熱学会への入会を申し込まれる場合には，無料とします.

【懇親会】
- 開 催 日：平成 21 年 6 月 3 日（水）

・　会　　場：国立京都国際会館（宴会場「さくら」）
・　懇親会費：
　一般（事前申込：8,000 円，当日申込：10,000 円．配偶者無料）
　学生（事前申込：4,000 円，当日申込： 5,000 円）

【交通と宿泊】
・　交通と宿泊については，本シンポジウムのホームページをご参照下さい．
・　京都は世界からの旅行者が常時，多数，訪れる国際文化都市です．そのため，ホテルの予約は容易ではありません．お早めに手配されることを強くお勧めします．シンポジウム実行委員会でも 250 室程度の部屋を確保しております．本シンポジウムのホームページをお訪ね下さい．

講演申込方法・講演論文集・執筆要綱

【講演申込方法】
・　原則としてホームページからの申込に限ります．シンポジウムのホームページから必要なデータを入力して下さい．ホームページからの申込ができない場合には，実行委員会にお問い合わせ下さい．
・　一般セッション，オーガナイズドセッション，優秀プレゼンテーション賞セッションのいずれで発表するかを選択して下さい．優秀プレゼンテーション賞セッションに申込の場合には，本号掲載のお知らせ「優秀プレゼンテーション賞について」をご参照下さい．
・　講演申込時に，講演論文のアブストラクト（日本語で 200〜250 字）を入力して下さい．講演論文集の抄録として科学技術振興機構（JST）のデータベースに登録します．
・　講演申込は，講演者 1 名につき 1 題目に限ります．
・　講演申込は，J-STAGE 上で受け付けます．
・　講演の採否およびセッションへの振分けについては，実行委員会にご一任下さい．

【講演論文集】
・　講演論文集として，オフセット印刷版（白黒）と電子版を作製します．講演論文集（電子版）はホームページにリンクしてある J-STAGE において公開します．会員には学会誌 2009 年 4 月号においてパスワード情報を通知し，電子版を J-STAGE 上で閲覧できるようにする予定です．パスワードによる閲覧は，会員が当該講演論文をのちに原著論文として学術論文誌等に投稿することを考慮し，本講演論文集が限られた範囲に配布されたことを明示するためのものです．
・　講演論文集（電子版）の CD-ROM も作製し，参加者に配布します．不参加の会員にも，希望があれば配布しますので，開催後に実行委員会にお申し込み下さい．
・　オフセット印刷版の講演論文の長さは，1 題目あたり A4 サイズで 2 ページとします．講演論文の作成様式は，2 段組×片側 26 字×60 行とします．
・　電子版には，オフセット印刷版と同じものか，または 8 ページ以内のフルペーパーを掲載することができます．様式はオフセット印刷版と同じですが，カラーの使用が可能です．ファイル容量は最大で 2 MB までとし，アニメーションは含まないものとします．
・　原稿はシンポジウムのホームページから提出して下さい．講演論文投稿 J-STAGE にアクセスし，必要事項を記入した後に，原稿をアップロードして下さい．
・　電子版に掲載された講演論文は，本学会の論文誌“Thermal Science and Engineering（以下，TSE と略す）”にそのまま投稿することができます．ただし，掲載の可否は通常の査読プロセスを経て決まります．
・　TSE への投稿を希望する場合には，ホームページから原稿を提出する際に，論文投稿画面中のチェックボックスを ON にして下さい．その際，TSE の投稿規程をご一読願います．査読は，電子版に掲載さ

れた論文をもとに TSE 編集委員会において担当エディターを定め，通常の手続きに従って行います．オフセット印刷版と同じ 2 ページでも TSE 投稿原稿として受け付けますが，8 ページ以内でより詳細に執筆いただくほうが，その後の査読が円滑に進みます．掲載可になった後には，TSE の論文形式に沿った原稿を提出していただきます．この場合の TSE 論文の受理日は，シンポジウム実行委員会での原稿受付日になります．

・　講演論文原稿は，講演論文を電子化するために，原則として PDF ファイルで提出するものとします．PDF ファイルで提出できない場合には，変換作業料（1 件につき 3,000 円）を申し受けて，実行委員会が PDF 化を代行します．

・　提出締切期日までに未提出の講演論文は，講演論文集（冊子体・CD-ROM）および J-STAGE に掲載されません．J-STAGE の締切は厳格ですので，十分にご注意下さい．

【執筆要綱】

○　講演論文原稿の書き方

・　講演論文は以下に従って作成して下さい．また，書式の詳細ならびにテンプレート用の電子ファイルは，シンポジウムのホームページをご参照下さい．

表題部分の書式：

原稿は，下の四角囲い部に示すように，和文表題，和文副題，英文表題，英文副題，和文著者名（会員資格，著者名，所属の略記），英文著者名，英文所属機関・所在地，英文アブストラクト，英文キーワードの順に，段組をせず幅 150mm に収まるようにレイアウトして下さい．連名者がある場合には，講演者の前に＊印をつけ，英文の所属機関・所在地についても上付き数字で区別して下さい．

論文表題および著者名は，講演申込時のデータと同じものを同じ順序で書いて下さい．講演申込時のデータと異なる場合には，目次や索引に反映されないことがあります．

150mm

第 46 回日本伝熱シンポジウム原稿の書き方（和文表題：Gothic 14pt）
MS-Word の場合（和文副題：Gothic 12pt）
Guide for the manuscripts（英文表題: Times New Roman 12pt）
The case of MS-Word（英文副題: Times New Roman 12pt）
（1 行あける）
伝正　＊伝熱　太郎（京理大）（会員資格　著者名［講演者には＊印］（所属略称）：明朝体 12pt）
（1 行あける）
Taro DENNETSU (英文著者名：Times New Roman 10pt)
Dept. of Mech. Eng., Kyoto Univ. of Science, Kyotanabe, Kyoto 610-0321
（1 行あける）
（文頭に半角スペース 5 つを挿入する）English abstract .....（英文アブストラクト：Times New Roman 10pt, 100 語程度）
（1 行あける）
Key Words : Heat Transfer（英文キーワード：Times New Roman 9pt, 3～5 個程度）
（1 行あける）

表題部分の書式

本文の書式：

第 1 ページで，本文は 9 ポイント明朝体の 2 段組（片側 1 行 26 文字程度）で作成して下さい．第 2 ページ以下では，先頭から 2 段組とし，片側 60 行を目安として作成して下さい．

図表：

図表中の記号およびキャプションは英語で書いて下さい. なお, 電子版原稿はカラー表示が可能ですが, オフセット印刷版原稿は白黒で印刷されます.

参考文献：

参考文献は，本文中の引用箇所の右肩に小括弧をつけた番号(1)で表し，本文の末尾に次のようにまとめ

て列記して下さい.

（番号）著者名, 雑誌略称, 巻-号（発行年）, 先頭ページ番号.

例：(1) 伝熱・他 2 名, 機論(B), 12-345(2006), 1234.

PDF ファイルへの変換：

PDF ファイル作成のためのファイル変換時には,「フォントの埋め込みを行う」よう設定して下さい. 変換後の PDF 原稿は, 提出（アップロード）前に, 必ず, 印刷したものを確認して下さい.

【講演論文の公開日】

- 講演論文は, 会員を対象に, シンポジウム開催日の 1 週間程前から J-STAGE 上で公開します.
- したがって, 特許に関わる公知日は, シンポジウム開催日よりも早くなりますのでご注意下さい.

【参加費等の振込み方法】

・ステップ 1：まずシンポジウムのホームページから, 事前参加登録を行って下さい. 折り返し, 事前参加登録 ID 番号（4 桁の数, 例：1234）と金額が記載された電子メールをお送りします.

・ステップ 2：つぎに, 下記の銀行口座に, 電子メールに指定の金額を振込んで下さい. その際, 必ず, 氏名の前に事前参加登録 ID 番号を付けて下さい.

振込先： みずほ銀行　（銀行コードは　0001）
出町（でまち）支店　（店番号は　587）
普通預金口座
口座番号　1112829
口座名　第 46 回日本伝熱シンポジウム実行委員会
（ATM 機によっては途中までしか表示されないかも知れませんが大丈夫です.）

ATM 機での振込人の指定例：　「１２３４　テ”ンネツタロウ」

注意 1：銀行振込みをもって「事前登録完了」とします. ホームページからの登録だけでは「完了」ではありません. 振込みが 4 月 14 日以降になった場合は, 当日登録扱いとし, シンポジウム受付にて差額をお払いいただきます.

注意 2：経理処理の都合上, 複数の登録者の分をまとめて振込むことはご遠慮下さい. お手数ですが, 必ず 1 件ずつ「ID 番号と氏名」を指定してお振込み下さい.

注意 3：今回のシンポジウムでは銀行口座のみを開設していますので, 従来, 学会誌に挟み込んでいた「郵便振替用紙」はありません.

【ご注意】

- 講演申込の取消および講演論文原稿の差替は, シンポジウムの準備と運営に支障をきたしますのでご遠慮下さい.
- 論文題目と著者名が, 講演申込時と講演論文原稿提出時で相違しないようにご注意下さい.
- 口頭発表用として実行委員会が準備する機器は, 原則として, 液晶プロジェクターのみとします. パーソナルコンピューターは各自ご持参下さい.
- 参加費, 懇親会費等は参加取消の場合にもお返ししません.
- その他, ご不明な点がありましたら, 実行委員会に E-mail または Fax でお問い合わせ下さい.

【お問い合わせ先】

第 46 回日本伝熱シンポジウム実行委員会
京都大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻内
E-mail: info@nhts2009.me.kyoto-u.ac.jp
Fax: 075-753-5209

優秀プレゼンテーション賞（第 46 回日本伝熱シンポジウム）について

日本伝熱学会 学生会委員会
委員長　堀部明彦

第 46 回日本伝熱シンポジウムでは，下記の要領で，学生・若手研究者を対象に優秀プレゼンテーション賞セッションを設けます．企業・大学・研究機関等の多数の皆様にご参加いただきたくお願いいたします．

日　　時：平成 21 年 6 月 2 日（火）　シンポジウム第 1 日
講演形式：発表者 1 名あたり 3 分程度のショートプレゼンテーション（SP）と 80 分程度のポスタープレゼンテーション（PP）を行う形式をとる予定です．発表方法の詳細については現在検討中です．決定し次第，シンポジウムのホームページに掲載します．
対　　象：企業・大学・研究所等の技術者・研究者で，平成 21 年 3 月 31 日現在で 28 歳以下の者，または，講演申込当日に学生である者（ただし，社会人大学院生を除く）．
応募資格：講演時（＝審査時）に，日本伝熱学会の会員（正員・学生員），または，入会申込中であること．
応募件数：指導教員または研究グループ長等あたり，1 名（1 件）とします．
応募方法：第 46 回日本伝熱シンポジウム講演申込時に，本号掲載の【講演申込方法】に従って，“優秀プレゼンテーション賞”の項目を選択し，“指導教員または研究グループ長等の氏名”および“研究分野の分類記号”を入力して下さい．なお，講演論文原稿の様式については一般セッションと同様のものとします．
審査・選考方法：複数名の審査員による評価に基づいて選考し，授賞者を決定します．
表　　彰：表彰はシンポジウム第 2 日の日本伝熱学会総会で行います．

＜詳細は，日本伝熱学会・日本伝熱シンポジウム実行委員会・学生会委員会内で検討中です＞
＜最新情報はシンポジウムのホームページに公開します＞